

計画名等	第1期 (H20~H24)	第2期 (H25~H29)	第3期 (H30~R4)	北海道科学技術審議会の主な意見
	北海道科学技術振興戦略	新北海道科学技術振興戦略	北海道科学技術振興計画	
基本目標	<p>第1 振興戦略の基本的な考え方</p> <p>第2 北海道における科学技術への期待</p> <p>第3 基本目標と推進研究分野</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○北海道経済の活性化・自立化の実現</li> <li>○安全・安心な生活基盤の創造</li> <li>○環境・自然に配慮した社会の創造</li> </ul>	<p>第1 基本的な考え方</p> <p>第2 本道の科学技術を巡る諸情勢</p> <p><b>新規</b> 第3 「北海道科学技術振興戦略」(平成20~24年度)における主な取組と課題</p> <p>第4 基本目標と推進研究分野</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○北海道経済の活性化・自立化の実現</li> <li>○安全・安心な生活基盤の創造</li> <li>○環境と調和した社会の創造</li> </ul>	<p>第1章 基本的な考え方</p> <p>第2章 前回の計画における主な取組と情勢の変化等</p> <p>第3章 基本目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○持続的な経済成長の実現</li> <li>○安全・安心な生活基盤の創造</li> <li>○環境と調和した持続可能な社会の実現</li> </ul>	<p><b>1 基本計画策定関係</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○大学間連携のほか、民間、官、金等がどう連携するか検討が必要。</li> <li>○科学技術が一般道民に身近に感じられるようSDGsの視点をもっと前面に出すべきと考える。</li> <li>○次期基本計画は、小さく、分かりやすく、コンパクトなものにすべきと考える。</li> <li>○計画の広報に力を入れるべき。</li> </ul> <p><b>2 科学技術振興全般</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○北海道の地域社会を持続可能なものとするため、地域間の連携など、地域で必要な機能の確保に、科学技術を活用する検討が必要。</li> <li>○第一次産業、雪・寒さなど、他の都府県に無い分野の技術を強化し、日本の発展につながるようにすべき。</li> </ul> <p><b>3 産学官連携の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○チャレンジフィールド北海道の活動が、産と学とのギャップを埋めてくれるのではないかと期待。</li> <li>○「技術コーディネーター」 + 「ビジネスコーディネーター」で、出口戦略を考えられる、社会実装させるための人材を作るべき。</li> </ul> <p><b>4 人材確保・育成関係</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域のDXの推進には、行政に専門家や大学の教員などが寄り添っていくことが必要。</li> <li>○北海道が持続的に発展するためには、若者の地元定着は必須で、人材育成は引き続き強化していく必要があるが、札幌圏とその他の地域では人材育成の体制や環境に温度差がある。</li> </ul>
基本的施策	<p>第4 基本的施策</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>研究開発の充実及び研究成果の移転等の促進                     <ol style="list-style-type: none"> <li>道内大学等を核とした研究拠点の形成</li> <li>北海道の特性を活かした研究開発の推進</li> <li>研究成果の企業への移転及び事業化・実用化の推進</li> </ol> </li> <li>道における試験研究等の推進</li> <li>産学官及び金融機関等の協働の推進</li> <li>知的財産の創造・保護及び活用</li> <li>科学技術を支える人材の育成及び道民の理解の増進</li> </ol>	<p>第5 基本的施策</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>研究開発の充実及び研究成果の移転等の促進                     <ol style="list-style-type: none"> <li>道内大学等を核とした研究拠点の形成</li> <li>北海道の特性を活かした研究開発の推進</li> <li>研究成果の企業への移転及び事業化・実用化の推進</li> </ol> </li> <li>道における試験研究等の推進</li> <li>産学官金等の協働の推進</li> <li>知的財産の創造・保護及び活用</li> <li>科学技術を支える人材の育成・確保及び科学技術コミュニケーション活動の促進</li> </ol>	<p>第4章 北海道において進める主な研究開発分野</p> <p>第6章 基本的施策</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>研究開発の充実及び研究成果の移転等の促進                     <ol style="list-style-type: none"> <li>北海道の特性を活かした研究開発の推進</li> <li>研究開発に関する拠点の形成</li> </ol> </li> <li>研究成果の企業への移転及び事業化・実用化の促進</li> <li>道における試験研究等の推進</li> <li>産学官金等の協働の推進</li> <li>知的財産の創造・保護及び活用</li> <li>科学技術を支える人材の育成・確保及び科学技術コミュニケーション活動の促進</li> </ol>	
重点	<p>第5 科学技術振興施策の戦略的展開</p> <p><b>リーディング戦略</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>食関連分野 (フード分野)</li> <li>健康・医療・福祉関連分野 (ライフ分野)</li> <li>環境・エネルギー分野 (エコ分野)</li> </ol>	<p>第6 地域イノベーションの創出に向けた取組の戦略的展開</p> <p><b>戦略的展開</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>食・健康・医療分野</li> <li>環境・エネルギー分野</li> </ol>	<p>第5章 重点的プロジェクト</p> <p><b>重点化プロジェクト</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>「食・健康・医療」分野</li> <li>「環境・エネルギー」分野</li> <li>「先進的ものづくり」分野</li> <li>「AI・IoT等利活用」分野</li> </ol>	
	<p>第6 推進体制及び推進管理</p>	<p>第7 戦略の推進体制</p>	<p>第7章 北海道内6地域における取組</p> <p>第8章 計画の推進</p>	